

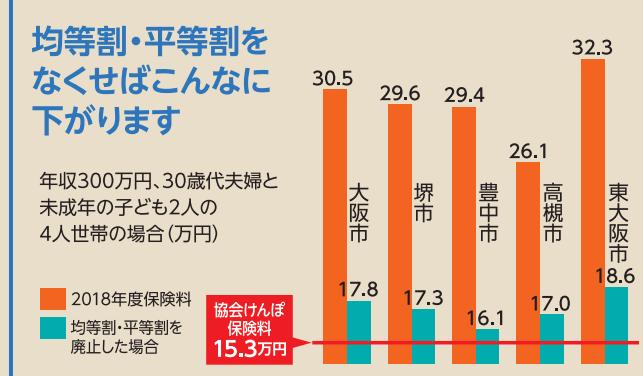
子どもの貧困対策を！

大阪の子どもは、5人に1人が貧困状態。ところが、大阪府の子どもの貧困対策費はわずか8億円。予算規模が4分の1の沖縄県では、30億円の「子どもの貧困対策基金」を創設し、独自の対策を実施しているのに比べ、お粗末すぎます。

- 「子どもの貧困対策条例」(仮称)を制定し、対策を抜本的に強化
- 子ども食堂や朝食の提供、学習支援塾などの取り組みを支援
- 子ども医療費補助(現行就学前まで)を小学校卒業までに拡大。市町村との協力で高卒までに拡大。就学前の窓口負担(500円)を無料に

国民健康保険料を引き下げ！

あまりにも高すぎる国民健康保険。全国知事会などが要望している「1兆円の公費負担増」で、保険料の「均等割」「平等割」を廃止し、「協会けんぽ」並みに引き下げます。



- 維新府政がすすめる「保険料や減免制度の府内統一」を中止
- 大阪府の独自補助、市町村の一般会計からの繰り入れや減免制度の拡充

誰もが安心して住める住宅を！

維新政治のもと、府営住宅が大幅に減らされ、住宅困窮者が入りたくても入れない状況。

住まいは人権です。貧困と格差が広がる中、安心して住める公営住宅の大量建設や、北部地震などによる「一部損壊」家屋への独自支援など、府民の居住権を守るのは大阪府の仕事です。

- 老朽化した府営住宅の保守・建て替えを計画的に行い、低家賃の公営住宅の大量建設を
- 老人・障がい者・ひとり親世帯及び単身者向けの福祉住宅の枠を大幅に拡大
- 低所得者・高齢者など貧困世帯に対し家賃補助を
- 北部地震などによる「一部損壊」家屋への府独自の支援制度



**カジノ・「大阪都」より
子育て、医療、福祉の拡充を**

「大阪の経済はよくなつた」と宣伝する維新。しかし、この10年間で、子育て、医療、福祉の予算をバッサリ減らし、府民の貧困と格差が拡大しています。



「大阪都」の破たんは明らか!

「大阪都」で「二重行政」の
ムダがなくなるの? 体育館・図書館や文化施設など、
府民が利用しやすく頼りにされているのならムダではありません。

「二重行政」を理由に 必要な病院が 潰された!

維新が「二重行政解消」を理由に廃止を強行した市立住吉市民病院。市民になくてはならない病院でした。市民の「出産・入院できるベッドの確保を」の願いを維新政治によって潰させてはなりません。

「人の命がかかっているのに…」ABCキャストより



遠くて…出産が間に合わず

昨年6月、府立急性期・総合医療センターで出産予定だった南港東の妊婦さんが自宅で破水し、自家用車で移動中に救急車がかけつけて車内で出産、その後救急車で緊急搬送。「二重」だとされた病院の間には踏切(2カ所)があり時間がかかります。

現地建て替えの方が安かった

「ムダの解消」を理由にした「病院の廃止・統合」でしたが、当初計画どおり現地で建て替えた方が「廃止・統合」よりも安くついたことを市民には知らずだましていました。

廃止・統合案	現地建て替え案	
60億円がホンマ!	120床規模	80床規模
約30億円	約57億円	約45億円

第12回大阪府市統合本部会議(2012年5月29日)資料より



それよりも

「二重庁舎」は解消を!

橋下知事(当時)が購入を強行した咲洲庁舎(旧WTC)は、台風21号で甚大な被害を受け、南海トラフ地震では往復13メートルもの揺れが予測されるなど防災拠点にはならず危険です。撤退して「二重庁舎」の解消を!

特別区素案では 市民サービスが低下する!

大阪市人事室

特別区設置に係る「組織体制(部課別職員数)」に対する人事室意見(平成30年12月6日)より抜粋

大阪市人事室は、大阪都の設計図である「特別区素案」の職員体制に対して「サービス水準が低下する」と意見表明しています。必要な人員を確保すれば必要な庁舎も増え、コストもさらに増えることになります。

担当業務	人事室のコメント
市会事務局	この人数では業務執行に支障を来す恐れがある。
庁舎管理、文書管理、情報公開、法務などの総務部門	この人数では業務執行に支障を来す恐れがある。
人権施策の企画や啓発・相談、雇用・労働施策、男女共同参画施策など	それぞれの特別区において現在とおおむね同程度の業務量が必要となるため、この人数ではサービス水準の低下を来す恐れがある。
プールや体育館など含め、本市の公共建築物の建設、改修など	この人数では業務執行に支障を来す恐れがある。また、ノウハウを持った技術職員(建築、機械、電気職)を特別区毎に十分に確保することは困難。
教育委員会・施設整備	この人数では業務執行に支障を来す恐れがある。

人事室の意見(まとめ)

具体例としてあげた業務はあくまでも例示。職員数の不足やサービス水準の低下の懸念はこれらの業務に留まらない。